

令和2年度 事務事業マネジメントシート

事務事業N.o.	2-	6	
会計	款	項	目
一般	2	5	1

事業名	統計調査事業費	5	賑わうまち	課名	政策課
		5-1	働きがいのあるまちをつくる	係名	政策係
施 策	5-1-4 勤労者福祉と雇用の充実				
	④定期的な情報収集				

1 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	国が行う各種統計調査	目的（対象がどのような状態になっているか）	各種統計調査が正確かつ円滑に実施されている。
事業内容		・国勢調査 ・経済センサス活動調査（準備） ・工業統計調査 ・人口推計調査 ・学校基本調査		

2 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	指標名	平成30年度	令和元年度	令和2年度	単位	目標方向	令和2年度（目標）
	1						
	2						
	3						
	4						
	5						
				令和元年度（決算）	令和2年度（決算）	令和3年度（予算）	
全体事業費（千円） A+B				6,046	13,645	7,326	
財源内訳	直接事業費A			1,426	7,405	1,746	
	うち一般財源			0	0	0	
人件費（千円）B				4,620	6,240	5,580	
内訳	一般職員（人・千円）			0.7	4620	0.91	6006
	臨時職員（人・千円）			0	0	0.13	234

3 事務事業の評価、今後の方針及び業務改善<※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方針

個別評価	必要性	今後の必要性	B必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A達成できた
		町関与の必要性	A町が担うべき	効率性	対象者の適切性	A対象者は適切である
					コストの削減	A削減の余地はない
総合評価	II 継続（事業内容の現状が最良でこのまま継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①R2年度の改善計画	国の統計法に基づき適切に統計調査を実施する。	③取組の課題	登録調査員制度の充実。
②R2年度に実施した取り組み	国の統計法に基づき、国の費用の範囲内で指定された区域を期間内に報告できるよう、適切に実施した。	④今後の改善計画	国の統計法に基づき適切に統計調査を実施する。